

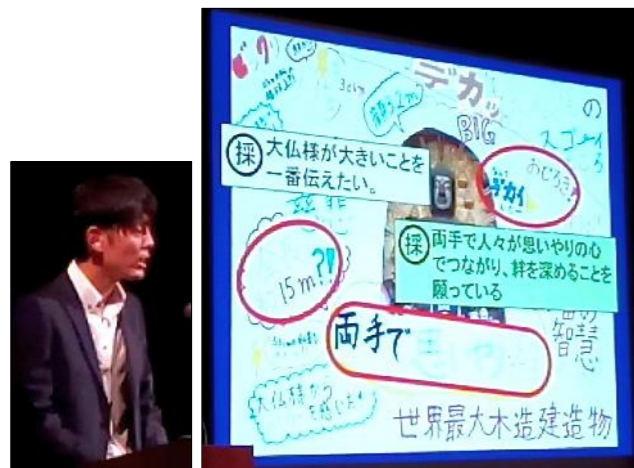
研究発表大会を開催しました

平成29年10月25日（水）、名古屋市教育センターにて、名古屋市情報教育研究会研究発表大会を開催しました。研究部の発表内容についてお知らせします。



「子どもたちの学びを深める情報教育」

～主体的・対話的な学びを重視した授業を通して～

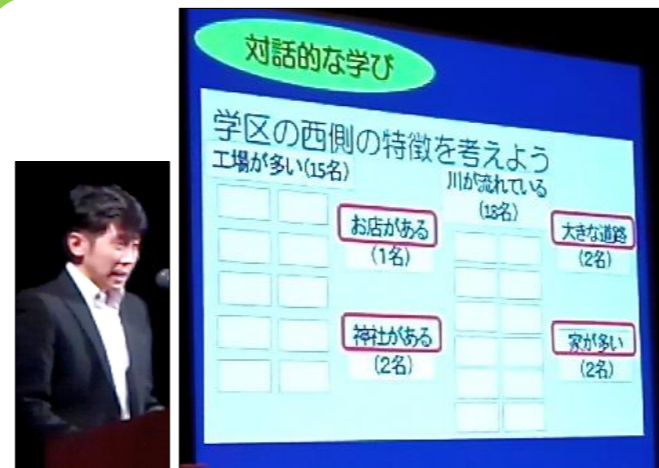


小6総合「行くぞ！学ぶぞ！修学旅行」

「修学旅行で学んだことを保護者に伝えよう」という課題を設定し、情報をまとめることで、伝えたい自分の考えをもてるようにした。

同じ場所を調べた友達とグループを作り、意見交流を通して新しい考えを取り入れたり、考えを共有したりしたことで自分の考えを深め、授業参観で保護者に伝えることができた。

発表者：沼山 泰幸（桶狭間小）

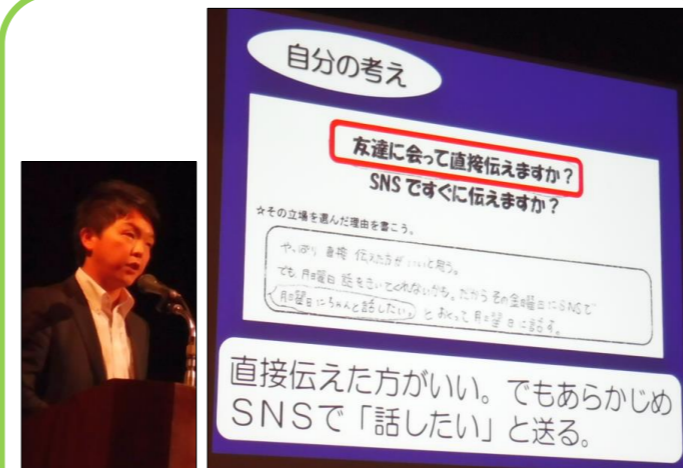


小3社会「わたしのまち みんなのまち」

「学区の方面ごとの特徴を考えよう」という課題に対して、視点を基に、それぞれの方面に実際に学区探検に行くことで、自分の考えをもてるようにした。

方面ごとの特徴をカードに書いて黒板に貼り、意見の数に着目させて、大事な特徴に気付かせることができた。少数意見にも着目させて考えを深め、学区の特徴を捉えることができた。

発表者：園木 裕貴（緑小）



小6学活「友達とのコミュニケーションについて考えよう」

「口論した友達に謝りたいが、どうやって気持ちを伝えるか」という課題について「SNSですぐに伝える」という立場と、「直接会って伝える」という立場に分かれ、互いの意見を交流させた。

話し合いの流れを付箋紙を使って可視化することで、意見の振り返りが容易となり、自分の考えを深めることができた。

発表者：山本 貴之（港西小）



課題は「より効果的な意見交流のあり方」

学年の発達段階、教科等の特性、取り上げたテーマなどによって、どのような意見交流の方法がより効果的なのかを考えて行く必要があるという課題が明らかになりました。今後の研究に生かしていきます。

アンケートから

- ・最終的には「深い学び」につながらなければならないという視点を大切にしたい。
- ・情報モラルの研究は、教科とも関係する内容であったため、参考にしやすい。
- ・区・学校へ持ち帰り、先生方や子どもたちに還元したいと思う。
- ・低学年にも情報活用の教育が効果的だということが分かった。授業作りに生かしたいと思った。
- ・プログラミング教育の実践例や進め方、導入、展開等、具体的に教えてほしい。
- ・タブレットの有効な使い方についてもっと知りたい。



平成29年度 名古屋市教育研究派遣員（情報教育）

梅原 秀斗（香流小）

「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる児童の育成」

神尾 英佑（当知小）

「主体的に表現活動に取り組むことができる児童の育成」

谷川 翔一（橘小）

「根拠を基に自分の考えを説明できる児童の育成」

森部 大悟（東白壁小）

「情報を比較して、自分の考えをもつことができる子どもの育成」
～ デジタルカメラを活用して～



「名情研Web」のご案内 <http://www.meijoken.com/>



▲「活動報告」ページ
活動内容が分かります。



▲「実践例一覧」ページ
授業作りに生かせます。



▲「名情研だより」ページ
過去の記事が読めます。

「名情研の活動って？」
「ICTを生かしたい！」
「もっと実践が見たい！」

「名情研Web」では、名情研会員以外の方にも役立つ情報を発信しています。

<http://www.meijoken.com/>

名情研

検索

